



藤木しんや活動報告

米の需給を懸念 出来秋に向け万全な対策を

農水省は、7月29日に米の需給見通しを発表しました。JAグループが組織をあげて、飼料用米などへの転換を推進していただいた結果、過去最大規模 6.7 万 ha に近い作付転換が達成できる見通しとなりました。このことをふまえ、自民党として、達成できた産地の努力が報われるように、今回の作付転換に対する水田活用の直接支払交付金の財源確保と、2年産米の在庫対策として「米穀周年供給・需要拡大支援事業」の拡充、4年産米の対策にかかる十分な予算確保と需要回復・拡大に向けた取組強化の予算確保等について、野上浩太郎農林水産大臣に申し入れを行いました。

農水省は、作付転換目標（6.7 万 ha）もほぼ達成し、2年産在庫のうち 33 万トンを「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を活用し長期計画的に販売することで、今秋の余剰感は回避できると見ていますが、私は率直に「見通しが甘い」と感じています。目標を達成しても4年6月末の民間在庫量は 210 万トンと適正水準を上回り、依然として高い水準のままであり、出来秋の作況次第ではさらに積み増す恐れがあります。私は、コロナで影響を受け需要が減少した分はコロナ対策として大規模な在庫対策を措置すべきと強く訴え、7月29日の党の米対策の委員会でも同対策を求める声が多く上げられましたが、農水省からは、「調整保管事業自体が市場隔離である」との回答で、国による買い入れは否定的な姿勢を崩していません。また、同委員会では、4年産以降の需給調整のあり方など議論の必要性も訴える声もありました。

大変難しい課題ですが、在庫対策や4年産以降の政策のあり方については、私が立ち上げた若手議員勉強会などを通して、これまでの米政策をしっかりと検証し、問題点を洗い出し、必要な見直しや強化を行っていきたくと思っています。出来秋に柔軟に機動的に対応できるように、農家・JAグループの皆さまからのご意見を聞かせていただきながら、しっかりと取り組んでまいります。

参議院議員 藤木真也



米政策について現場の声を踏まえ日々議論



農業基本政策検討委員会(7月29日)



若手議員勉強会発起人の築和生先生と古賀篤先生と鼎談



農林水産大臣へ米の需給安定に関する申し入れ

専業農家出身の唯一の議員として 農家・農業の未来のため全力で頑張ります



農家・JAの声を党の部会等で訴える

来夏参院選に向け、
事務所開きを
行いました!



自民党農林・食料戦略調査会・
農林部会合同会議(8月4日)



養蜂議員連盟総会



自民党物流調査会の
事務局次長に就任



(東京都千代田区神田錦町1-23)

全国を訪問させていただき、生産者・JA役職員の皆さまと意見交換



北海道JA訪問



岩手県JA訪問



和歌山県JA訪問



石川県JA訪問



福島県JA訪問



茨城県JAつくば市谷田部
全職員WEB研修会



藤木しんや埼玉後援会
総会・国政報告会



宮崎県農民連盟代議員
研修会



JA九青協リーダー養成研修会
(WEB)



令和3年度
高知県日本農業新聞大会



JA熊本県青協より推薦状授与



静岡県JA訪問



高知県次期参議院議員選挙に
向けた役員・窓口担当者合同会議



山形農協政治連盟国政報告会



JA福島県青年連盟から要請



滋賀県農政連盟通常総会



島根おおち農政研修会

藤木しんやプロフィール

参議院議員1期目(平成28年7月初当選)

自由民主党 農林部会 副会長
自由民主党 農林水産災害対策委員会 事務局長
参議院自由民主党 副幹事長

【所属委員会(参議院)】

農林水産委員会 理事
予算委員会
災害対策特別委員会
資源エネルギーに関する調査会

LINE公式アカウント
はじめました!

QRコードから
簡単に友達登録!



藤木しんやの
メッセージや活動などを
タイムリーに発信!

国政報告のご依頼・ご要請など

お気軽に
お声がけください!
皆さんのもとへ
駆けつけます!

藤木しんや
後援会



〒101-0054 東京都千代田区
神田錦町1-23 宗保第2ビル3階
TEL:03-6262-9936 FAX:03-6262-9937



〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館1006号室
TEL:03-6550-1006 FAX:03-6551-1006

藤木しんやホームページ
<https://www.fujiki-shinya.com>



藤木しんやフェイスブック <https://www.facebook.com/fujikishinya.kumamoto/>

